

公開実用 昭和62-3310

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭

B 60 H 1/34
F 24 F 13/068Z-7219-3L
7104-3L

審査請求

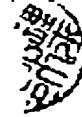
⑮ 考案の名称 車両の天井通風装置

⑯ 実 願 昭60-94655

⑰ 出 願 昭60(1985)6月22日

⑱ 考 案 者	岩 田 春 雄	稲沢市高御堂2-8-25
⑲ 出 願 人	愛知機械工業株式会社	名古屋市熱田区川並町2番20号
⑳ 代 理 人	弁理士 清水 義久	

公開実用 昭和62-3310



明 細 書

1. 考案の名称

車両の天井通風装置

2. 実用新案登録請求の範囲

空調装置にダクトを介して接続され屋根側に配設されて車室内を冷却する天井通風装置であって、前記裏面を覆う形で取り付けられ板と、この上面板との間で袋状に通気層を前記ダクトに接続される下面板とよりなり、前記下面板にはその全面／若しくは一部に冷氣吹き出し口を設けたことを特徴とする天井通風装置。

3. 考案の詳細な説明

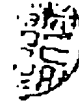
(産業上の利用分野)

この考案は自動車等の車両の屋根の裏面されて車両内を冷却する天井通風装置に関するものである。

(従来の技術)

従来、天井部に空調用冷気の吹き出し口

公開実用 昭和62-3310



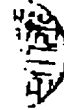
第3図は第2図のイ部拡大図であり、成
トリム1Aを袋状にするにあたり、上面板
下面板3Aとの四周を固着する方法を示す
ある。すなわち、上面板2Aの前端部2A
面板3Aの前端に設けた段部9に溶着ある
着等の手段により固着している。

（考案の効果）

以上の説明から明らかなように、この考
ると成形天井トリムの下面板の多数の冷氣
し口から吹き出された冷氣は、それ自体の
よって車室内下方へ移動する際、車室内の
らなく奪うので車室内を均一に冷却するこ
きる。又、車室内全体が冷やされるのと
て、温度の高い空気が天井トリム側へ上昇
しても、すぐ吹き出し口からの冷氣によっ
奪われるので、自然で理想的な車室内の冷
なうことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図～第3図はこの考案の実施例を示



面を示す側面図、第 2 図は第 2 実施例の第
対応する図、第 3 図は第 2 図の(イ)部拡大
る。第 4 図、第 5 図はそれぞれ従来例を示
1 図に対応する図である。

R・・・屋根

S・・・車室

1, 1 A・・・天井通風装置(成形天井トリ

2, 2 A・・・上面板 3, 3 A・・・下面

4, 4 A・・・通気層

6・・・細孔(吹き出し口)

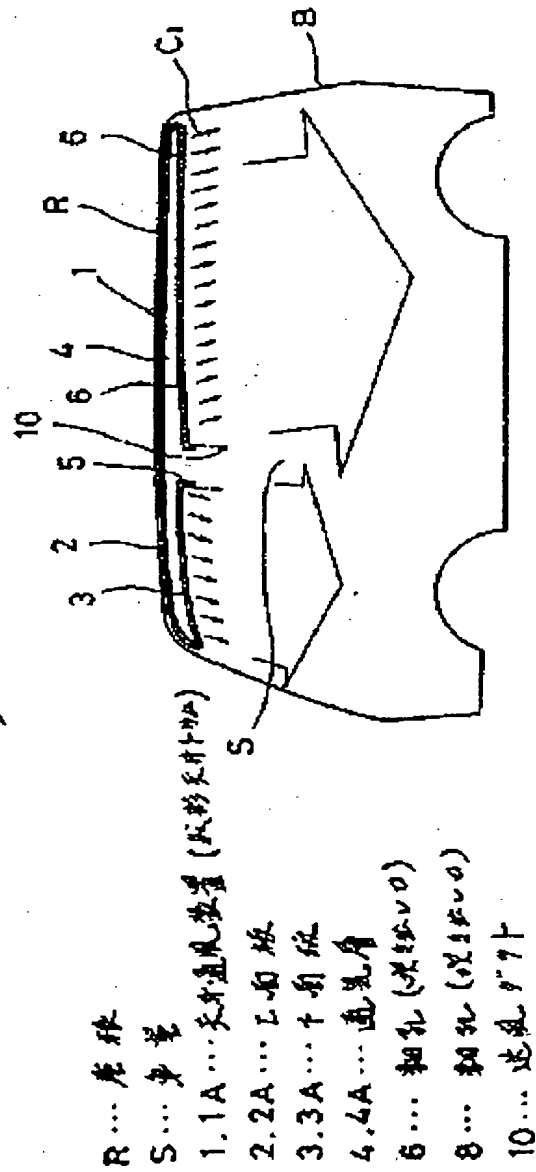
8・・・細孔(吹き出し口)

10・・・送風ダクト

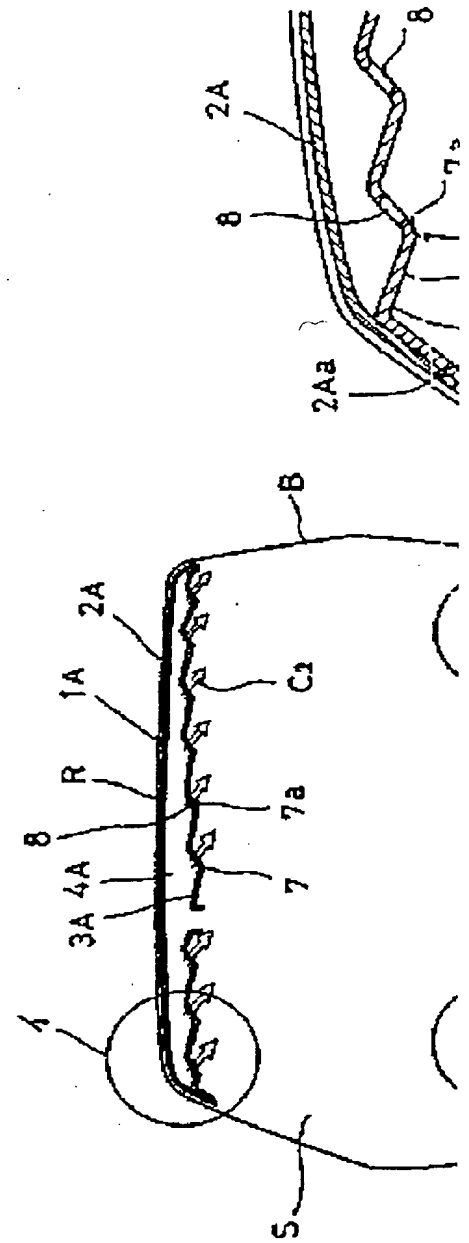
実用新案登録出願人 愛知機械工業株式会
代理人 弁理士 清水 義

62-3310

図面その1

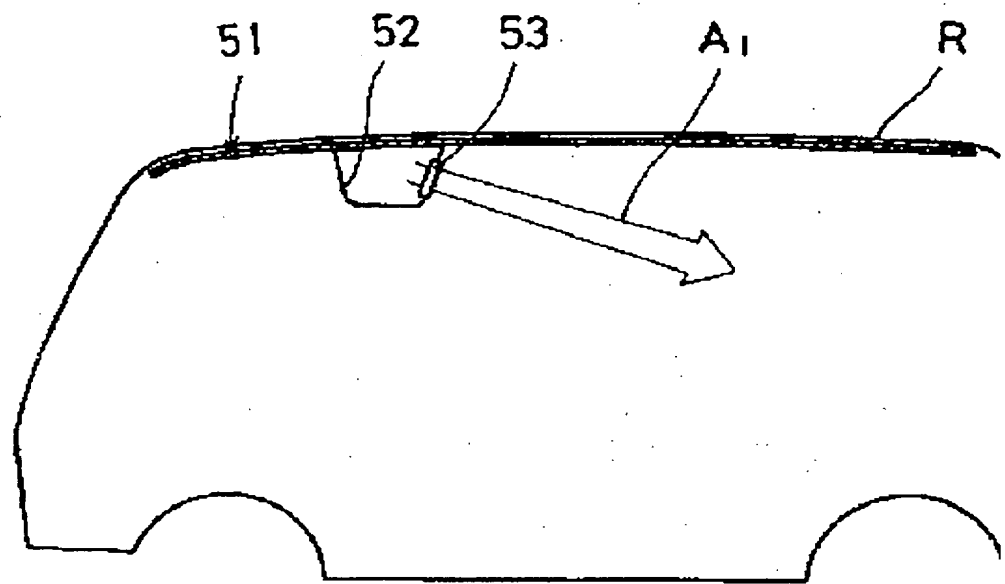


第 1 図



公開実用 昭和62-13310

図



第 4 図

